

令和2年4月 東京地区百貨店売上高概況

令和2年5月22日

I. 概況

1. 売上高総額	301億円余
2. 前年同月比	-76.1% (店舗数調整後/7か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-84.5%(58.8%) : 非店頭7.0%(41.2%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 25店 (令和2年3月対比±0店)
5. 総店舗面積	825,556㎡ (前年同月比:-1.2%)
6. 総従業員数	16,544人 (前年同月比:-4.7%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	9-11月 -1.7%、10-12月 -8.1%、11-1月 -3.5%、 12-2月 -5.6%、1-3月 -17.2%、2-4月 -41.6%

[参考] 平成31年4月の売上高増減率は-0.8%

【特徴】

- (1) 4月の東京地区は、7日に発出された「緊急事態宣言」を受け、都内全店で臨時休業・時間短縮・食品フロアのみ営業などを実施したことで、平均営業日数が15.7日(前年同月比14.3日減)となり、入店客数(84.8%減/7か月連続)、売上高(76.1%減/7か月連続)共に、全国水準より一段と厳しい結果となった。
- (2) 自粛措置で店頭業績が低迷する一方、外出自粛や内食需要の高まりなどを背景に、オンラインショッピングや通信販売、宅配サービス、外商などを含む非店頭売上は7.0%増と伸長した。
- (3) 商品別では、衣料品(87.3%減)、身のまわり品(79.4%減)など、ファッション関連アイテムは休業によって動きがほとんど見られず、化粧品や高額品を含む雑貨(84.6%減)も同様の結果となった。食料品(61.0%減)は、催事の中止を余儀なくされたが、生活必需品である精肉や野菜など生鮮食品(39.4%減)は他の商材に比べ底堅かった。
- (4) 5月中間段階の商況は、「特定警戒都道府県」の指定が続いている影響で、90.8%減(5/18)と依然厳しい状況で推移している。全館休業していた店舗も段階的に営業を再開したことで、月末に向けて徐々に業績回復していくことが期待される。

【要因】

- (1) 営業日数増減 15.7日(前年同月比 -14.3日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
①増加した: 0店、②変化なし: 0店、③減少した: 17店
- (3) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した: 1店、②変化なし: 1店、③減少した: 11店

東京地区百貨店 売上高速報 2020年4月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	30,114,090	100.0	-76.1 (-76.1)
紳士服・洋品	1,483,909	4.9	-86.0 (-86.0)
婦人服・洋品	1,713,416	5.7	-92.1 (-92.1)
子供服・洋品	1,058,749	3.5	-66.4 (-66.4)
その他衣料品	504,476	1.7	-74.2 (-74.2)
衣 料 品	4,760,550	15.8	-87.3 (-87.3)
身のまわり品	3,885,972	12.9	-79.4 (-79.4)
化粧品	2,070,838	6.9	-86.1 (-86.1)
美術・宝飾・貴金属	1,209,074	4.0	-87.3 (-87.4)
その他雑貨	1,316,251	4.4	-75.6 (-75.6)
雑 貨	4,596,163	15.3	-84.6 (-84.6)
家具	1,212,405	4.0	-13.7 (-13.7)
家電	631,820	2.1	-6.7 (-6.7)
その他家庭用品	1,401,924	4.7	-61.3 (-61.3)
家庭用品	3,246,149	10.8	-43.1 (-43.1)
生鮮食品	2,326,433	7.7	-39.4 (-39.4)
菓子	1,541,604	5.1	-79.3 (-79.4)
惣菜	2,246,464	7.5	-63.6 (-63.6)
その他食料品	4,058,019	13.5	-52.9 (-52.9)
食 料 品	10,172,520	33.8	-61.0 (-61.0)
食堂 喫茶	114,658	0.4	-95.8 (-95.8)
サ ー ビ ス	664,193	2.2	-68.8 (-68.8)
そ の 他	2,673,885	8.9	-12.5 (-20.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	386,104 千円	-81.8 (-81.8)
従業員数	16,544 人	-4.7
店舗面積	825,556 m ²	-1.2
営業日数	15.7 日	前年 30.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、3か月連続で全品目がマイナスとなった。また、全国同様、その他の品目も全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-76.1	—	7か月連続マイナス
紳士服・洋品	-86.0	-7.2	7か月連続マイナス
婦人服・洋品	-92.1	-16.0	7か月連続マイナス
子供服・洋品	-66.4	-1.7	7か月連続マイナス
その他衣料品	-74.2	-1.2	7か月連続マイナス
衣料品	-87.3	-26.0	7か月連続マイナス
身のまわり品	-79.4	-11.9	3か月連続マイナス
化粧品	-86.1	-10.2	7か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-87.3	-6.6	3か月連続マイナス*
その他雑貨	-75.6	-3.2	7か月連続マイナス*
雑貨	-84.6	-20.0	7か月連続マイナス
家具	-13.7	-0.2	2か月連続マイナス
家電	-6.7	-0.0	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-61.3	-1.8	7か月連続マイナス
家庭用品	-43.1	-2.0	5か月連続マイナス
生鮮食品	-39.4	-1.2	19か月連続マイナス*
菓子	-79.3	-4.7	3か月連続マイナス*
惣菜	-63.6	-3.1	3か月連続マイナス*
その他食料品	-52.9	-3.6	2か月連続マイナス*
食料品	-61.0	-12.6	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-95.8	-2.1	7か月連続マイナス
サービス	-68.8	-1.2	7か月連続マイナス
その他	-12.5	-0.3	2か月連続マイナス
商品券	-81.8	-1.4	19か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>